

第7回 宮崎・学生ビジネスプランコンテスト 開催要項

1 開催趣旨

新たなベンチャーの創出を通じた日本経済の活性化が求められる中、『知の創造』拠点としての大学等には多くの技術・研究成果等が蓄積されている。みやざきビジコン実行委員会では、こうしたシーズやビジネスアイデア等をもとに、多くのイノベーション（技術革新）を創出し、地域の活性化に繋げることを目的として、大学生・院生の若者が創造能力とチャレンジ精神を養うための事業計画書（ビジネスプラン）作成の場と、自ら考え解決する能力とプレゼンテーション能力を養成する場を提供する。

- 平成29年度から、「宮崎大学ビジネスプランコンテスト」（通称：みやだいビジコン）として開催。
- 令和2年度からは、宮崎県とも連携し、本学以外の県内大学・短大・高専の学生にも公募対象を拡大するとともに、「高等教育コンソーシアム宮崎」との組織的な連携など、県内一丸となったオール宮崎による支援体制を構築し、名称新たに「宮崎・学生ビジネスプランコンテスト」（通称：みやざきビジコン）として開催。
- 令和5年度からは、宮崎銀行とテレビ宮崎との共同主催により、県内全域への広報活動に力を入れるとともに、県内企業との協力体制強化を図る。

2 対象者

宮崎県内の大学・短大・高専生（高専生は4年生以上）
（共同提案者として県外学生をチームに含むことは可能）

3 テーマ要件

大学の技術シーズを活用した事業や、社会の課題解決アイデア、日常生活の周りにあるアイデアをヒントにした事業、食・農業・観光といった、宮崎の特色を活かした事業等とする。事業の実施場所は海外でも構わない。単なるアイデアのみではなく、事業化にむけての具体性のあるビジネスプランを募集する。

なお、協賛企業から提示されるビジネステーマがある場合は、応募者が希望により当該テーマを選択し、そのテーマに基づいたビジネスプランで応募することもできる。
(例)

- ①新技術、環境、新エネルギー・省エネルギー、バイオテクノロジー、リサイクル、産業廃棄物処理、住宅、災害支援などの技術分野（大学等の技術シーズを活用したビジネスプラン。リサイクル、リユースなど環境保全に資するプラン新エネルギー・省エネルギーに資するプラン 等）
- ②生活文化・生活支援、新サービス・アミューズメント、福祉、物流・流通、人材・教育、ビジネス支援、ソーシャルビジネスを含むニュービジネス分野（高齢化社会に対応した介護システムプラン。生活利便等に関するプラン。シルバー人材の活用に関するプラン。流通の効率化等に関するプラン 等）
- ③食品・農林水産品、加工・製造技術、観光資源など九州が持つ強みや特徴を活用、組み合わせで展開するビジネス分野（機能性食品の開発、製造に関するプラン。外国人観光客を誘致していくためのプラン。地域資源・農商工連携に関するプラン 等）

4 募集期間

令和8年4月14日（火）～令和8年7月4日（金）

5 応募用紙

別紙のとおり

※「九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」と同様の様式

6 提出方法

みやざきビジコン公式 Web サイト (<https://www.miyazaki-u.ac.jp/busicon/>) の応募フォームより提出。

提出先：みやざきビジコン実行委員会事務局

宮崎大学 学び・学生支援機構 共創人材育成課内

7 スケジュール（予定） ★は審査関係

	項目	備考
前年度 1 月～	協賛企業募集	
4 月～6 月	チラシ、ポスター、HP 更新 県内高等教育機関協力依頼、説明	
	審査員編成	県内高等教育機関、行政、 産業界、協賛企業 等
4 月 1 4 日（火）	ビジネスプラン募集開始	
	スタディツアー	協賛企業 等
4 月 2 5 日（土）	チームビルディング	
5 月 3 0 日（土） 6 月 6 日（土） 6 月 1 3 日（土）	プラン to ビジネス（全 3 回）	
6 月 2 7 日（土） ～ 6 月 2 8 日（日）	ビジネスプラン作成合宿	
★ 7 月 3 日（金）	応募締切	
★ 7 月 7 日（火） ～ 7 月 1 4 日（火）	一次審査（書類審査）	
	一次審査結果発表・フィードバック	
8 月 1 0 日（月）	プレゼンテーションスキルアップ	
8 月 2 1 日（金）	2 次審査直前アドバイス講座	
★ 8 月 2 7 日（木） ※ 9 月 1 日（火）予備日	二次審査（プレゼン審査）	
9 月 2 5 日（木）※ 仮	メンター講座	ビジコン決勝経験者
★ 1 0 月 3 日（土）	最終審査（決勝プレゼン）	
1 0 月～	・九州大会、全国大会等への出場支援 ・プラン実現に向けた伴走支援	ビジ活奨励金

※参考情報

- 九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト（九州大会）

募集期間 6 月上旬～8 月下旬（第 25 回大会は令和 7 年 6 月 2 日～8 月 22 日）

最終審査 11 月中旬（第 25 回大会は令和 6 年 11 月 8 日（土））

- キャンパスベンチャーグランプリ（全国大会）（九州大会グランプリ者が九州地区代表として出場）

最終審査 2 月下旬

- 起業家甲子園（全国大会）（九州大会 NICT 賞受賞者が九州大会代表として出場）

最終審査 3 月上旬

8 審査決定方法（1次、2次、決勝プレゼンテーション）※参考：第6回

審査項目	採点	評価基準（あくまで目安を例示したもの）
新規性・革新性・優位性	5	事業アイデア等の新規性、優位性も大変高い。
	4	事業アイデア等の新規性、優位性も高い。
	3	事業アイデア等の新規性、優位性も普通である。
	2	事業アイデア等の新規性、優位性も普通よりやや劣る。
	1	事業アイデア等の新規性、優位性がなく劣る。
実現可能性・市場性	5	近々（2年以内）、事業化が可能であり、市場性も大変大きい
	4	5年後には事業化できる可能性があり、市場性も大きい
	3	計画が具体的に煮詰まっているが、起業には今一步で、市場性も普通である。
	2	計画が具体的に策定できておらず、市場性が見極めが普通より甘い。
	1	単なるアイデアであり、市場性もない。
表現力	5	表現力、説得力が十分にあり、起業家としての意識も大変高い。
	4	表現力、説得力があり、起業家としての意識も高い。
	3	表現力、説得力、起業家としての意識は普通である。
	2	表現力、説得力、起業家としての意識は普通よりやや劣る。
	1	表現力、説得力、起業家としての意識は低い。
大学での学習・研究の活用 【宮崎大学賞】 ※決勝プレゼンのみ	5	大いに活かされている。
	3	活かされている。
	1	活かされていない。
地域性・地域での 経験・視点の活用 【宮崎銀行賞】 ※決勝プレゼンのみ	5	大いに活かされている。
	3	活かされている。
	1	活かされていない。
地域を盛上げ、更に活性化 させる視点の活用 【You&UMK賞】 ※決勝プレゼンのみ	5	大いに活かされている。
	3	活かされている。
	1	活かされていない。

9 審査会

事項	開催時期	審査員 ※第6回実績を記載
第1次審査 (書類審査)、 メール協議	7月7日(火)～ 7月14日(火)	○宮崎大学 ・産学・地域連携センター <u>淡野</u> ・地域資源創成学部 <u>根岸、丹生、土屋</u> ○株式会社テレビ宮崎 ・経営戦略局 <u>矢野</u>
第2次審査 (プレゼン審査)	8月27日(木) ※9月1日(火) 予備日	○宮崎大学 産学・地域連携センター <u>淡野</u> ○株式会社テレビ宮崎 経営戦略局 <u>矢野</u> ○ベータ・ベンチャーキャピタル株式会社 <u>津野 省吾 氏</u>
最終審査 (決勝プレゼン) 対面 メディキット県民 文化センター 演劇ホール	10月3日(土)	① 株式会社サザビーリーグ <u>植村 剛直 氏</u> ② 合同会社 KAMENOCO <u>かめもと きえ 氏</u> ③ ベータ・ベンチャーキャピタル <u>津野 省吾 氏</u> ④ Archetype Ventures <u>福井 俊平 氏</u> ⑤ 株式会社ソラシドエア <u>山岐 真作 氏</u> ⑥ 株式会社インターユニバーシティ・ベンチャーズ <u>山口 泰久 氏</u>

10 表彰対象

グランプリ 1点 (副賞 30万)

宮崎大学賞 1点 (副賞 10万)

You&UMK 賞 1点 (副賞 10万)

宮崎銀行賞 1点 (副賞 10万)

その他 優秀賞 数点

※優秀な成績をおさめたチームのうち1チームに、第26回九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト決勝プレゼンテーション挑戦権授与

※宮崎県内高等教育機関にて開催される独自ビジコンの上位者について、各成績によりみやざきビジコン決勝または2次審査へのシード権を付与する。

11 実施体制

(1) 主催

宮崎大学、テレビ宮崎、宮崎銀行

(2) 運営

みやざきビジコン実行委員会

(3) 後援 (第5回実績)

宮崎県、宮崎市、一般社団法人高等教育コンソーシアム宮崎

一般社団法人宮崎県商工会議所連合会、九州・大学発ベンチャー振興会議

一般社団法人九州ニュービジネス協議会、宮崎県信用保証協会

日本政策金融公庫 宮崎支店・延岡支店

(4) 協賛企業

複数企業

(5) 学生スタッフ

宮崎県内の大学・短大・高専生 (高専生は4年生以上)

12 問合せ先

みやざきビジコン実行委員会事務局

(宮崎大学 学び・学生支援機構 共創人材育成課内)

Tel: 0985-58-7141

Mail: busicon@miyazaki-u.ac.jp